

高知ユナイテッドSCより



サッカー球場で観戦を

(右) 田尻 康晴さん(21歳)

(左) 吉田 晴稀さん(21歳)

2人とも今年移籍して高知にきました。Jリーグ百年構想クラブの事業として、地域貢献のため、週に一度、選手が農作業のボランティアをしています。自分で収穫する野菜は新鮮で美味しく、支えてくれるサポーターや地域の人を身近な存在として感じます。

チームワークが良く常に声を掛け合って練習しています。見て楽しいサッカーだと思うので、ぜひ球場に足を運んで欲しいです。年間の目標は3ゴール、得点に絡む3アシスト。チームのJ3昇格を目指して、去年の自分を超越するプレーをしたいです。

「うまみそセット」が人気です！

長崎 朝陽さん(27歳)

美波さん(27歳)

夫婦で週に2回、野菜を販売しています。土曜日は帯屋町のパン屋ビポー前広場、火曜日は瀬戸の藁屋の前です(7月~10月は不定期)

家のハウスで作ったキュウリやハーブ、農家仲間から集めたトマトなどの野菜を出しています。SNSや口コミでたくさんの方が来てくれるようになりました。

おすすめは、宗田節や米みそなど高知の素材で作った「土佐のうまみそ」。キュウリとセットにした「うまみそセット」が人気です。英字新聞で作った新聞バックやハーブ、葉物野菜を組合わせたサラダセットは、妻のアイデアです。

営業日や場所は「ファームベジコ」で検索、またはインスタグラムのQRコードから読み込んでくださいね。

諸木地区より



ファームベジコのInstagramはこちらから！

高知地区からこんにちは 今月の○○気になる人

弘岡下より



農家に役立つ仕事を

北岡 修身さん(87歳)

毎日、午前中に3時間は畑仕事をしています。梨の剪定をしたり、葉草の試験栽培をしています。沖縄の珍しい野菜を取り寄せて育て、とさのさにも出荷しています。午後は本を読んだり、好きな相撲を見て悠々自適に暮らしています。

JA高知春野の組合長時代の一番の思い出は、JAグリーンの選果機を作ったこと。他県の例を研究し3年かけ完成しました。選別、出荷を機械化することで生産者が栽培に専念できるようになりました。

JA役職員は有用な情報をつかんで具現化し、農家に役立つ仕事をやりぬくことが大切。応援しています。

共済普及課より



笑顔で訪問・元気にあいさつ

瀧口 和希さん(24歳)

JA共済のLA(ライフアドバイザー)として諸木地区を担当しています。

早く顔を覚えてもらえるように笑顔で明るく元気な挨拶を心がけています。加入内容をしっかりご説明して、保障切れや心配なところがないかお聞きします。まだまだ学ぶことが多い毎日ですが、「困ったときにすぐに訪問してくれるので助かる」と言ってもらえた時はうれしく思いました。

趣味はサッカーで小学校からずっと続けています。休日は社会人チームでプレーしています。体を動かすことが好きですね。

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



ハウス新ショウガを収穫する作業員

1 高知地区 ハウス新ショウガ 出荷ピーク迎える

春野町で栽培されている「ハウス新ショウガ」の出荷が最盛期を迎えました。県内では産地をリレーして3月から9月ごろまで収穫しており、仙台から福岡まで幅広く出荷しています。今年の品質は良好で、3月に気温が上がった影響もあり例年より多く全体で940tの出荷を見込んでいます。

生姜部会ではハウス新ショウガの知名度向上のため10年以上前から部会の女性組織を中心に新たなレシピを考案し、県外各地に試食宣伝・販促活動に出向いていました。しかし近年のコロナ禍で活動の自粛を余儀なくされる中、産地紹介やレシピ動画を作成しYouTubeで公開するなど、新たな取り組みもおこなっています。春野営農経済センターの木戸純平さんは「まだ普通のショウガとの見分けがつかない消費者がいる中、地道な活動を続け徐々にハウス新ショウガを全国に浸透させていきたい」と話しました。



ハウス内のデータを収集するセンサー

2 高知地区 IOPクラウド活用・ JA職員が研修会

JA高知県営農販売事業本部は5月19日、高知県のすめるデータ連携基盤IOPクラウド「SAWATCH」の活用を目的に営農、流通、販売、広報部門の職員20人に研修を行いました。

「SAWATCH」は栽培ハウスから得られる園芸作物データや環境データの他、JAからの出荷データを収集、蓄積し、農業の「見える化」を進め、経営診断や収量予測を可能にする機能があります。

営農企画課の乗名公平さんは「SAWATCH」は栽培ハウスから得られる園芸作物データや環境データの他、JAからの出荷データを収集、蓄積し、農業の「見える化」を進め、経営診断や収量予測を可能にする機能があります。

「SAWATCH」はこれから検証、機能の改修・開発を続け、今年9月の本格運用を目指しています。

「SAWATCH」を利用することで、勤と経験だけでなく、正確なデータと情報を生産者に伝えることができるようになる。全国の値動きや市場情報を把握し、営農指導と販売事業の連携をさらに図っていきなさい」と話しました。

SAWATCHはこれからも検証、機能の改修・開発を続け、今年9月の本格運用を目指しています。

3 高知地区 あぐりスクール・ 親子茶摘み体験



親子に茶摘みを教える村田さん（写真㉔）

JA高知県は5月14日、小学4年生までの児童とその保護者を対象とした第3期「親子あぐりスクール」を開催しました。同活動は食農教育の一環で、今期は野菜の収穫や家畜市場の見学など全5回を予定しています。

高知市の「ささのさとアグリコレット」で開いた開校式には、親子13組26人が参加。佐川町の約アヘクターの茶畑で生産者の村田早穂さん（有）村田園芸の説明を受けながら、茶摘みを体験。その後、くろいわ集落営農センターで茶づくりの工程を学び、JA佐川支所緑茶加工所を見学しました。次回は6月4日にサツマイモの定植とキュウリの収穫体験を予定しています。

5 高知地区 新茶まつり・3年ぶり開く



水だし茶を紹介する生産者㉕

土佐茶振興協議会は高知市の中央公園北口で5月5日、3年ぶりに「新茶まつり」を開きました。八十八夜の頃に開く恒例行事で、JA高知県や土佐茶生産者ら5団体が参加。収穫期に好天が続いたことで、やわらかい新芽を順調に収穫でき、新茶の品質は県内各産地とも良好です。4月下旬に収穫したばかりの新茶や、茶葉を使ったプリンやマフィンなどを販売しました。

協議会事務局で県産産物マーケティング戦略課の松岡寿充課長は「川のそばの傾斜地で育った土佐茶はうまみが多く、製茶法により金色透明で香りがよいのが特徴。県内外にPRして消費拡大をすすめてい」と話しました。

4 高知地区 フレミズがワークショップ開く・ アロマサシェ作り



飾り付けのバランスをアドバイスするフレミズ部員㉖

JA高知県女性部春野地区のフレミズ部会は5月7日、春野営農経済センター大会議室でアロマワックスサシェを作るワークショップを開きました。フレミズ部員が自ら教えるスタイルで初めての開催。ワークショップを通じて活動を知ってもらい、仲間を増やすことが目的です。高知市などから参加した26人の参加者は、飾り付けるプリザーブドフラワーやドライフルーツを選び、8種類のアロマオイルの中から好きな香りを選びました。

高知市から参加した糸川智恵さんは「フレミズの活動を初めて知りました。アットホームな雰囲気楽しく作ることができました」と話しました。

6 高知地区 ライフヒストリーから学びあう 女性部研修会



アグリサイズ体操をする女性部員

JA高知女性組織協議会は6月3日、組織間の交流や学習・意見交換の場として、令和4年度女性部研修会を開きました。

研修会には県内の女性部員約40人が参加し、(株)JAMEMリアルこころの櫻本氏が「効果的なエンディングノートの活用方法」を講演しました。次にJA職員が講師となり「脳トレクイズ」の出題と「アグリサイズ体操」を実演。また、「私の生き様」と題してJA女性部南国市地区の高橋幸子さんが生まれから女性部活動を含む人生史を発表し、「女性部として何ができるのかを理解できれば周囲から意見が自然と出る」と、これまでの活動に対する率直な気持ちを語りました。

高知農業改良普及所より

花の需要回復に向けた取組について

はじめに

新型コロナウイルスの感染拡大以降、入学式等の式典や冠婚葬祭の規模縮小により、花全体の需要は減少しています。一方で、おうち時間で花を楽しむ家庭需要の割合は増加する等、花の利用方法や取り入れ方が変化しています。今回は、花の需要回復に向けた取組について紹介します。

1. 高校生花いけバトル

用意された花材を制限時間内に自由に生け、花の取扱い方や出来栄を競います。花に親しみ、美しさや楽しさを感じる気持ちを育む「花育」の一環として実施されており、大会や練習会では、県内生産者や生花店の方から、栽培の説明や花の紹介があります。その他、県内各地の高等学校で花いけの出前授業も行われています。



生花店の方からアドバイスを受ける参加者

2. こうちのohana満開プロジェクト

新型コロナウイルスの影響により売上が落ち込んだ高知市産の花きのPRを目的に、2020年から実施されています。高知市役所やオーテピアでは、撮影場所としても利用可能なスポットとして、生花店や華道家による花の展示が行われました。その他、写真コンテストや日曜市でのミニブーケの販売、フラワーアレンジメント教室等も実施されました。これまで花を購入する機会の少なかった方からも、花を身近に感じるきっかけになったとの声が聞かれました。



県内産の花を生けるアレンジメント参加者

3. いけばな「草月流」

高知の花は、生け花でも多く使用されています。中でも、草月流では三里のグロリオサを応援していただき、これまで、音楽+いけばな+ダンスがコラボレーションした舞台の開催や、花き業界応援プロジェクトとして、「サザンウィンド」5,000本を使用した、巨大な球体作品の展示がありました。また、高知の花応援プロジェクトでは、家元からの応援メッセージとともにいけ方の説明動画が配信されています。



勅使河原苗家元による作品：「正月花」

4. お花の定期・定額購入

コロナ禍でおうち時間が長くなり、自宅で花を楽しむ方が増加したことから、新たに普及している切り花の購入方法です。インターネットでの登録や店頭での申込みにより、定期的に自宅に届くものや、定額で毎月決まった分を店頭で受け取るものがあります。

さいごに

四季折々、また様々な場面で花を日常生活に積極的に取り入れ、心豊かに楽しんでみませんか。

◎問い合わせ先：中央西農業振興センター高知農業改良普及所
(TEL. 088-866-0711) (FAX. 088-861-0660)

えいのうへ

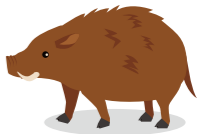


鳥獣被害対策専門員からのお知らせ



春野・土佐市地区
鳥獣被害対策専門員 上地 和久
携帯電話:090-3189-0373

有害鳥獣から地域を守る



猛暑の中、物価高騰の中で奮闘されている農家の皆様に心より敬意を表すとともに、暑中お見舞いを申し上げます。早いところでは、稲は7月中旬にも刈り取りの時期を迎えていることでしょうか。稲が実るにつれイノシシが活発に動く季節となります。そこで、有害鳥獣に対する注意点をご案内させていただきます。

人が通常の営みで排出するごみは一般廃棄物の生活ごみとして取り扱われており、農作物の残渣の取り扱いが事業系一般廃棄物となり、適切な処理が求められます。自身の土地に投棄をする場合、環境や衛生面に悪影響をあたえ、イノシシ等を誘引し、近隣のほ場に被害を拡大する原因ともなります。イノシシが容易に餌を得ることで、繁殖力が向上し、多頭出産する事例も報告されています。



※柑橘の残渣をイノシシが漁った後

いずれにしても、イノシシ被害を未然に防ぐには、電気柵やワイヤーメッシュ柵を設置することが肝要と考えます。資機材の購入や補助金の概要説明、設置方法については専門員へお気軽にお問い合わせください。

手軽に健康 手指体操

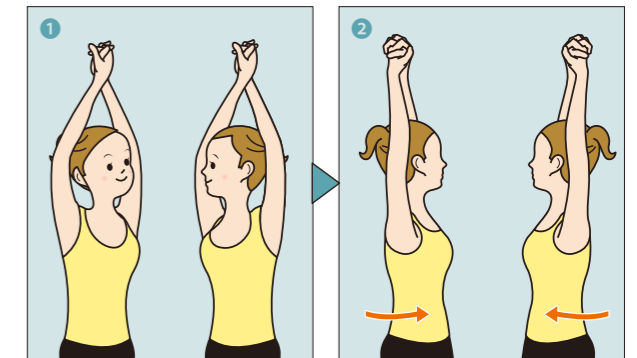
首・肩・背中の柔軟性アップステップ3

健康生活研究所所長 ● 堤 喜久雄

首・肩・背中の柔軟性アップの最終回です。腰のひねりが加わることで、さらに首・肩・背中の筋肉が伸びて、正しい姿勢を保ちやすくなります。

筋肉の凝りが日常化すると、全身が緊張状態になり、呼吸も浅く、自律神経も乱れがちに。体は全てつながっているので、首・肩・背中の柔軟性が高まるにつれて全身の巡りも良くなっていきます。自律神経が整っていくと心身のリフレッシュ効果もアップします。

この一連の体操は座ったままでもできますが、ぜひ立って行ってください。現代人は座りっ放しの時間が増えています。また、農作業で無理な姿勢が続く人にもお勧めです。悪い姿勢はさまざまな不調の入り口。前々回のステップ1から今回のステップ3を毎日の習慣にして、繰り返し行いましょう。



腕を交差させて、首・上半身をひねる

基本の動き

- ① 両足を肩幅に開き、背筋を伸ばして立ちます。腕をねじるようにして指を組み、上に伸ばします。体は前に向けたまま、首だけを左右に10回ひねります。
- ② 次は首と腰を一緒に同じ方向にひねります。左右10回行います。息を吐きながらひねり、吸いながら戻します。

ポイント

勢いをつけてひねると筋を痛めることがあるので、ゆっくりと呼吸に合わせて行います。

ステップアップ

余裕がある人は、この体操をへそから指3本分下にある「丹田(たんでん)」にぐっと力を入れて行いましょう。さらに効果がアップします。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

J Aバンクのアプリを初めて知りました。残高照会にATMに行かなくてよくなるのでいいですね。

(高知市介良 47歳)

▼「J Aバンクアプリ」はアプリをダウンロードして登録するだけで、いつでもすばやく口座残高のチェックや明細の照会ができるサービスです。登録に関して店舗等へのご来店は不要ですが、何かご不明な点がございましたら、お気軽に最寄りの支所窓口までお問い合わせください。

ひとり農業はつかれます。山の土地は、かたくて、骨が折れます!!

(高知市朝倉内 76歳)

▼毎月ではありませんが、「えいのう」のコーナーにて「手軽に健康 手指体操」と題し簡単にできる柔軟や体操を紹介しております。農作業の合間に、実践してみたいかと思いますが、当分暑さが続くかと思われませんが、お体に気をつけてお過ごしください。

「うちんくの台所」素材は同じでも、知らなかった調理法をいつも参考にしています。

(高知市上町 80歳)

▼いつも「うちんくの台所」をご利用いただき、ありがとうございます。5月号では幡多地区の女性部より3つのレシピを紹介しました。これからも毎月、日々の料理に活かせる女性部の方々の魅力的なレシピを紹介していきますので、ご期待ください。

今月の特集は、どれもこれも県産食材を斬新に使い、美味しそうで是非是非食べてみたいとなりました。今後の販路拡大に期待しています。

(春野町南ヶ丘 66歳)

▼5月号では、高知県産農産物の認知度アップの取り組みとしてJ Aと企業の連携を紹介しました。ノウハウが豊富な企業と連携することで、県産農産物の認知度向上や販売促進などの新しい可能性を広げています。これからも、J A高知県は県や企業と様々な面で連携し、販売促進に努めてまいります。

コチットのイチオシでは、いつも美味しいものが紹介されていて、今回はなじみのある豚まんでした。これはスーパーで買える商品で、手頃な値段でボリュームがあるので、県外の友達にもおススメです。そういった県産品の紹介を楽しみにしています。

(高知市塚ノ原 66歳)

▼道の駅 あぐり窪川の「具だくさん豚まん」をご友人にお勧め頂き、ありがとうございます。お土産としても大変喜ばれるので、私も道の駅に寄った時にはよく家族と親戚の分を買って帰ります。

次号が待ちどおしい。

(春野町芳原 84歳)

▼毎月必ず、このように「待ちどおしい」「次号が何か楽しみ」と書かれたお便りを頂いています。そう思ってもらえる広報誌ができていくんだ！と実感でき、私たち広報担当のやりがいになっています。ご感想、ありがとうございます。

【連絡先一覧表】

高知地区（春野町）

企画組合員課 894-3033

はるちゃんのアイス屋 894-2760

春野支所

信用課 894-2203

共済課 894-3304

金融渉外課 894-3309

他組織・子会社等

高知中央サービスセンター
(事故処理) 821-6015

(株)JAエナジーこうち
春野給油所 828-6212

ルミエールはるの
(フリーダイヤル24時間) 0800-200-5911

春野農機センター 894-5290

春野営農経済センター

購買課 828-6111

Aコープはるの
直販所「春の里」 894-2225

重油係 828-6115

ビニール加工場 894-4264

経済渉外課 828-6111

JAグリーンはるの店 828-6161

配送部門 828-6113

販売課 894-2222

養鰻出荷・加工場 894-5424

営農指導課 894-5660